

2016年2月5日  
株式会社 ディー・ディー・エス  
[www.dds.co.jp](http://www.dds.co.jp)

**Microsoft Surface** をベースにしたシンククライアント専用端末のオプション機能として、  
**指紋認証ユニット『UBF-Hello』** をエス・アンド・アイより提供開始

～「Windows 10」生体認証機能のフルサポートにより、効率的なワークスタイルの実現に貢献～

指紋認証を始めとした様々なセキュリティ・ソリューションを提供する株式会社ディー・ディー・エス（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：三吉野 健滋。以下、DDS）は、Microsoft Surface Pro4 及び Surface 3 用にデザインされた国内初の指紋認証ユニット「UBF-Hello」を、Microsoft Surface をベースにしたシンククライアント専用端末『ThinBoot ZERO Surface モデル』の認証オプションとしてエス・アンド・アイ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：藤本司郎。以下、エス・アンド・アイ）に対し2月5日より提供開始いたします。

世界的なサイバーセキュリティ対策の流れ、先般施行されたマイナンバー制度、モバイルデバイスの劇的な増大、及びクラウドサービスの本格的な普及により、セキュリティと利便性の観点から、生体認証機能のニーズが急速に高まっています。

「UBF-Hello」は、マイクロソフト社が昨年7月に提供を開始した Windows Hello を搭載した「Surface 3」において生体認証を動作させるために DDS が開発した専用の認証ハードウェアであり、昨年9月に発売しております。

この度、エス・アンド・アイより提供開始される『ThinBoot ZERO Surface モデル』はマイクロソフト社の Surface をベースにしたシンククライアント専用端末です。当該製品の認証オプションとして「UBF-Hello」を利用いただく事により、生体認証とシンククライアント端末によりセキュアで利便性の高い環境が実現し、端末の社外持出利用に最適化したビジネス環境を構築する事が可能となります。

## 《UBF-Hello の取付イメージ》



ThinBoot ZERO Surface モデル



『UBF-Hello』拡大図

## 《株式会社ディー・ディー・エスについて》

当社は、2012年に設立されたオンライン認証の標準化団体FIDOアライアンスに、日本企業として初めて加盟し‘バイバイパスワードの世界’の実現に向け、さまざまな認証課題を解決できる、携帯可能なワイヤレス生体認証機器の開発を進めてきました。FIDOに準拠した生体認証デバイスとして機能するmagatama及び認証局サービスmagatamaプラットフォームによりスケーラブルで安全な認証サービスを実現します。“magatama”デバイス、スマートフォンアプリ、次世代オンライン認証の標準規格である FIDO 準拠のサーバーで構成される“magatama”プラットフォームにより、本人認証の世界を広げるコンセプトを実現します。

## 《エス・アンド・アイ株式会社について》

エス・アンド・アイは、1987年の設立から現在に至るまで、企業やデータセンターにおける ICT 基盤の統合／仮想化、IP テレフォニー、コンタクトセンターのシステム構築、さらに各種ミドルウェア・アプリケーションの開発など、つねにお客様が求めるシステムの構築、運用技術を磨いてまいりました。昨今ではスマートデバイス活用を中心とした各種サービスやソリューション、IoT 分野やビッグデータ分析にも注力し、これまで蓄積した技術を活用し、よりお客様の事業を支援するソリューション、サービスの提供を行っています。

エス・アンド・アイ Web サイト:<http://sandi.jp>

## 《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社ディー・ディー・エス  
バイオ営業部 (TEL: 03-3272-7900)  
Email: [sales@dds.co.jp](mailto:sales@dds.co.jp)

### [注]

Microsoft、Surface は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、プレスリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください